

“スキー”

雪谷地区の五自治会（小池・池の台・東中・笹丸・上池）合同主催の第五回“初心者スキーを楽しむ会”が、去る二月十一日御坂スキー場に総勢130数名参加、バス三台で行なわれました。初めてスキーをする小学生が多く、インストラクターについて練習しました。滑れるようになった子供達は、大喜びで、来年も参加してもっと上達したいという声と共に無事に帰ってきました。各自自治会の世話人もいろいろ



ろ苦労しましたが、帰宅後両親から感謝の電話が多数あり、引率者達には、大変印象にのこりました。

清水窪湧水

（北千束一丁目二十九番）

大岡山駅の北口商店街のはずれの閑静な住宅街に沿った窪地に大田区文化財指定の清水窪湧水がある。湧水は2メートル程の崖の間から小さな滝となつて長さ20メートル位の池に流れこんでいる。池の淵には弁財天等の五基の小さな祠が祀られている。この湧水は武蔵野台地の端、千束谷がつきる所にあり昔は村落があつてこの一帯を清水窪と呼んだのもこの地形の為である。湧き出た水は、古来千束の大池と言われた洗足池の源流で、湧水量も多く千束の谷の田畑の灌



散歩道

漑と住民の生活に利用されたと云う。しかし、現在では近辺の住宅開発等によつて湧水も少なくなりつつあると言われ、いまだ都内に残された数少ない湧水池として貴重な存在である。

84歳の現役

総義歯（日本補綴歯科学会）の權威でいらしゃる河邊清治先生は、雪谷が、まだ荏原郡大字雪ヶ谷村と呼ばれた明治の末から、この地にお住いです。大正末に、池雪小学校を卒業されてから、毎日大森駅まで、四キロの道を歩いて国電に乗り、品川駅で降りて、明治学院まで歩いて通われ、また中学時代には、槍ヶ岳を始めとする登山で健脚を鍛えられました。

その後、東京歯科医学専門学校で、補綴の勉強をされ、医学博士の学位を受けられ、国際的にも御活躍で、数々の称号を受け、多くの著書が出版されました。前田青邨画伯を始め、先生の技術の恩恵を受けた人は、各界に亘るとききます。

カメラ歴は、昭和初期からで、御夫妻で海外旅行された折りの写真で作られたカレンダーは、どれも旅情をそそる場面で、プロの腕前です。

現在でも、御自宅から石川台駅まで歩き、池上線とJRを乗り継いで銀座の河邊歯科医院で診療と研究に多忙な日々を送っておられます。

お元気なその秘密は、「毎晩二合の晩酌と原稿書きのあとの洋酒のダブル」と「歩く事」と仰言いました。



雪谷の老人クラブ

雪谷地区には七つの老人クラブがあります。各クラブについての問い合わせは連絡先まで。

クラブ名	代表者	連絡先
南雪会	加藤一男	3729-1722 (南雪谷自治会館)
池の台クラブ	国府方進	3729-5051
雪谷福德クラブ	安藤 明	3727-3975
希望ヶ丘ときわ会	直井福次	3727-2596
小池白寿会	小野 純	3720-2700 (小池自治会館)
雪谷石川台寿クラブ	片桐滋枝	3720-7890
上池上ときわクラブ	網島源蔵	3729-3043

〔発行〕わがまち大田雪谷地区委員会

〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会

（連絡先）雪谷特別出張所内

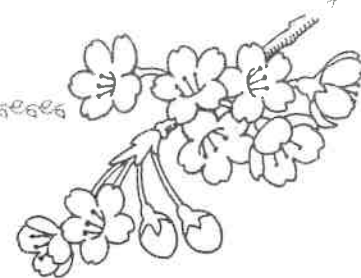
TEL 3729-5117

〔発行日〕平成5年4月1日 通巻第10号

ふれあい 雪谷

平成5年

さくら



池雪小学校 笹間真由美 先生の作品

雨の日も風の日も

放置自転車整理指導員（大田区委託事業）の仕事に携わっている上池台三丁目の小峯春吉さん（72歳）に話を聞かせていただきました。

「指導員の仕事をして10年になります。内容は、自転車置場の整理、美化、放置自転車の整理、指導等です。指導員は現在36名、仕事は日程表により月に20日間で働きやすく、毎日、洗足、大森、蒲田と現場が違い、仕事にも変化があります。雨の日や寒い日とつらい時もありますが、この仕事をしていて辞める人はなく、みんな長く続けて来ている（15年の人もいます）と言う事は、年も近く話もあうし、又健康にも良いからでしょう。」と話されました。

以前、民生委員もされ、現在も地域に密着した仕事をしている小峯さん、これからも元気で頑張ってください。



“寿クラブ”の誕生会

雪谷石川台自治会“寿クラブ”は、年間の活動計画の中に年4回の誕生会を入れてあります。現在の会員は男性18名、女性55名、計73名ですが、今年は1月から3月生まれの29名の方々に招待状を出す、3月の誕生会から始まります。

会は自治会館で行なわれますが、当日は、ささやかなお祝い品に会員が用意した手作り料理、その他の温かいお心寄せを頂ながら乾杯します。また男性でカラオケ持参の方もあり「さんさ時雨」など民謡の披露もある、楽しい時間がいつ果てるともなく続きます。

なお、自治会区域内に有ります東雪谷二丁目公園と華園児童公園の二ヶ所の清掃を、区の定める要綱にもとづき寿クラブとして参加させて頂いておりますが、誕生会は、その方々への感謝と慰労をも兼ねた催しとなっております。

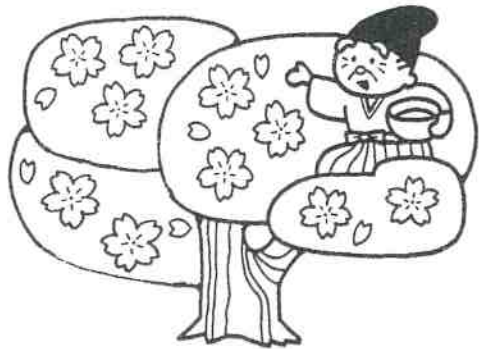
（片桐さだ枝さん 寄稿）



「張り」のある人生を

田村さんという、70歳代後半で造園業を営む方がおられる。年輩ではあるが、明るい磊落さと折り目正しさの両面を感じさせる方で、地域の奉仕活動などにも積極的に高い人望を集めている。若い頃は海軍特務士官として、死線を越えられた歴戦の勇士でもある。アルコールが入ると唱歌軍歌から始まり得意の相川音頭と楽しい一面ももっている。仕事では愛車を運転し、時にはクレーン付きのトラックを操縦し庭石の積降ろしまでやる。全く年齢を感じさせない働きぶりは、人間とはどう生きるべきかといった哲学的なものを教えられる思いがする。

「もう私も年だね」こうした言葉は老境にある方からよく聞かすが、田村さんの日常生活と含蓄ある楽しい会話に接していると、「人間の年齢とは何ぞや」と考えさせられる。人の老いは避けられない、だがそれぞれ異なった人生ではあっても、この気力に充ちた「張り」のある生き方は見習いたいものと思う。



いゝも いゝも 人生

ガンバレ86歳お母さん

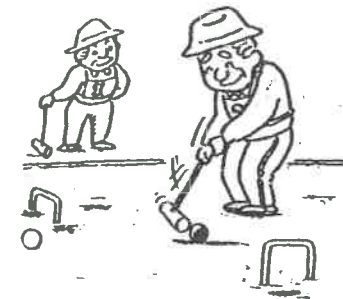
東雪谷一丁目にお住まいの相沢かつよさんは、助産婦さんとして、78歳まで活躍し、地域の新生児のお湯を使わせたり、若い母親の相談相手をなさったりしていましたので、お世話になった方々も数多くいらっしゃると思います。

80歳を過ぎ白内障で多少眼が御不自由にもかかわらず、編物を趣味として毛糸にかこまれて元気で頑張っています。カバー等の沢山の作品は、皆さんに差し上げたりして大変喜ばれています。

先日お伺いしたところ一寸腰を痛めて休んでいらっしゃいましたが、治ったら又制作に取りかかると張り切っていました。

希望ヶ丘ときわ会のホープ

大井千代さん（91歳）はお花の先生で、今も雪谷八幡神社のお祭りには献花されています。また希望ヶ丘会館や其の他にもお花を活けに行かれます。15年間老人クラブ会長として活躍され、明るく、実直、身嗜みがよく、何時も若々しく、お洒落で、詩吟が上手、俳句は「かびれ同人」です。お話が巧み、踊も上手で、新年会、誕生会などの会を盛り上げる達人です。斉藤かなゑさん（89歳）は、大井さんの後5年間老人クラブの会長を経験され、今は副会長として毎週必ず月曜にお茶とお菓子のお世話をしておられます。背筋をぴんと、軽やかな起居振舞はさながら六十代。頭脳明晰で婦人部の保険の集金を担当。趣味は詩吟、俳句、造花、お裁縫も得意です。踊の衣装を縫いなおして下さるなど奉仕の精神も旺盛な方です。



“ゲートボールで元気潑刺”

小池自治会“白寿会”では、健康保持と親睦を図るため、ゲートボール部があり、現在

55歳から80歳迄の男性2名、女性10名がそれぞれ和気あいあい元気で頑張っております。

これをお世話するのが、会長でもある最年長の小野純さん（囲碁は四段、剣道は三段とか）は、他の部員と同様病気とは、縁がない由です。

日頃の練習は上池台四丁目の射水坂（しゃみずか）公園で月・水・金の午前中に行ない、大田区ゲートボール協会他の対外試合に年8回位出場しています。

当会には、他に舞踊部、囲碁部、カラオケ部があり、春秋の旅行、新年会、敬老会を催しております。